

北海道教育委員会教育長 様

北海道岩見沢東高等学校長 渡辺 淳一

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

全日制課程

1 本年度の重点目標

「雲外蒼天」【スクール・スローガン】
 (どんな試練でも努力して乗り越えれば、青空が望める。勉強面、部活面、人生において、どんな人も必ず困難に直面することがあるが、努力して乗り越えた先には良い結果が待っている) を実現する教育を推進する。

(1) 学校課題の発見、確認及び検証に努め、組織的・効率的に学校づくりを進める。
 (2) 洞察力と先見性を持って研修に努め、岩東教育の一層の発展を推進する。
 (3) 保護者や関係機関及び地域との連携により、開かれた学校教育を推進する。
 (4) 服務規律の保持に努めるとともに、同僚性の高い健康的な職場づくりを推進する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	○各教科において、「主体的、対話的で深い学び」を重視した 授業実践に努めている。 ○BYODを推進することに加え、スタサブ等の各種インターネットサービスの利用により生徒の主体的な学習を目指した。	*ティーチングからラーニングへ移行することで、より主体的な学びにつながると思います。 *社会的変化に合わせた学習指導をされていることを認識しています。
改善方策	・「主体的、対話的で深い学び」の一層の充実を図るため、各授業や「総合的な探究の時間」等、学校教育全体を通して、探究的な視点をもって取り組む。 ・生徒の実態を踏まえ、授業展開や指導法の更なる工夫を図り、より高い進路設定が可能となるよう学力の向上に努める。	
生徒指導	○いじめや生徒間のトラブルの未然防止に向け、アンケートの実施及びそのような兆候があれば必要に応じた指導・支援を組織的・継続的に行った。 ○生徒会主催の学校行事は、新設統合高として生徒会を中心に新たな行事の在り方を考え実践した。	*SNSでのいじめや生徒間のトラブルも未然防止に向けて全力で取り組んでほしい。 *統合により、校内が落ち着くまで時間がかかったのでは、とお察しします。
改善方策	・引き続き担任や各活動に関係する教員で、生活の日ごとの様子の観察を進めるとともに、教員間で情報を共有しながら、スクールカウンセラーの活用も検討しながら必要な指導・支援を随時行っていくと共にいじめは絶対に許さないという意識の共有を図る。 ・より良い行事運営を進めるとともに、新しい学校文化を創造すべく生徒会活動を推進する。	
進路指導	○大学や地域等の外部関係機関と連携した学校説明会や講演等を開催することができた。 ○生徒の進路希望の実現に向け、個別面談・教育相談、生徒のニーズに応じた指導をすることができた。	*少子化に伴い各大学の特徴も大いに変化していると思います。その情報も的確に伝えて頂きたいです。 *両行のご指導の良さを生かしながら個人の導きをされたと感じています。
改善方策	・引き続き、外部関係機関との連携を図りながら、学校説明会、講演、講義等の実施について、実施方法や内容等を検討し、進路選択に係る最新情報の提供や進路指導・支援の充実を図る。 ・統合によりこれまで以上に生徒の学力や質が多様化する中、生徒一人一人に対する学習指導や進路指導等、日ごろの個別相談や指導をきめ細かく行っていく。	
その他	○外部への情報発信の一手段として、学校HPを中心に発信を行っている。特に保護者に向けてはスタサブ等を活用し情報提供を行っている。 ○「働き方改革」に係る職場の意識高揚を図りながら、勤務時間の縮減・長時間勤務の解消や積極的な休暇の取得に務めている。	*変形労働制もなくなりますので、適切な労働環境の整備も必要になります。 *メディアを通じての発信をよくお見かけしました。
改善方法	・学校HPの運用については、日々の情報更新や部局活動に係る情報発信をさらに進めるほか、スタディーサプリを有効に活用し効果的な情報発信を行う。 ・引き続き変形労働時間制の活用や休暇の積極的な取得、定時退勤日の設定、職場における業務の平準化等に取り組む。	